



2013年(平成25年)10月期

第2四半期決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 なかはま ゆうじ 中浜 勇治

(大阪証券取引所(ジャスダック市場)、証券コード:7827)

2013年6月21日

●目次

PART1 会社の概要	3
●プロフィール	4
●経営理念・沿革	5
PART2 事業の特長(強み)	6
●木材事業のビジネスフロー	7
●木材事業の特長	8
PART3 2013年10月期第2四半期の連結業績	11
1. 四半期連結損益計算書	12
2. 売上高・四半期純利益の増減要因	13
3. セグメント業績	
●木材事業	14
●ハウス・エコ事業	15
●アミューズメント事業	16
●不動産事業	17
4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結 キャッシュ・フロー計算書	18

PART4 市場環境と取組みの進捗状況	19
●木材事業の市場環境 ①	20
●木材事業の市場環境 ②	21
●木材事業の市場環境 ③	22
●木材事業:取組みの進捗状況	23
●ハウス・エコ事業の市場環境	24
●ハウス・エコ事業:取組みの進捗状況	25
●アミューズメント事業の市場環境	26
●アミューズメント事業:取組みの進捗状況	27
PART5 2013年10月期の業績予想	28
1. 連結業績予想(通期)	29
2. 予想配当	30
●本資料お取扱上のご注意	31
●IR担当窓口	32

PART1

会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	中浜 勇治(なかはま ゆうじ)
資本金	6億8,498万円
従業員数	245人(2013年4月末現在)
連結売上高	97億円(2012年10月期末)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、太陽光発電パネル等の施工・販売、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル TUI MARITIME S.A. (パナマ)

●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と、「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

経営理念

顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様利益を還元していく」という意味をあらわしております。

■ 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成元年10月	広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜材木株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場 (現大阪証券取引所JASDAQ市場)
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成20年8月	木材事業姫路工場稼働開始
		平成22年2月	太陽光発電パネル等の施工・販売の開始

PART2

事業の特長(強み)



● 木材事業のビジネスフロー

仕入・船積

ニュージーランド産ラジアータ松の原木を現地輸出業者から直接仕入

特徴①

海上輸送

専用運搬船「グリーンホープ」で日本まで安定・低コスト輸送

港からの搬入

原木を港湾地域にある当社本社工場及び姫路工場の2ヶ所へ搬入

特徴②

大量製材

独自の大型機械化製造ラインで大量・低コスト製材

出荷

製品を顧客及びユーザーへ直送



● 木材事業の特長① 専用木材運搬船「グリーンホープ」

■ 安定した輸送コストを実現



- 専用木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)を保有
- 日本とニュージーランドの間を年間8往復し、原木を海上輸送
- 安定的な輸送手段と輸送コストを確保＝国際用船料相場の高騰に影響されない

■ ロイズ SHIPPINGエコノミストによる

不定期船定期用船料指数 (2万トン以上3万5千トン未満クラス)

◆ 3.5万未満

1985年を100とした指数



■ バルチック海運指数 (ロンドン海運取引所算出)



● 木材事業の特長② 最新の「3Dスキャンシステム」と製材ライン

■ 立体解析されたデータにより自動製材



- 独自の「3Dスキャンシステム」を姫路工場に設置
- 木材をコンピュータで立体的に解析、最適な木材の切り出し図を自動判定
- 解析データによりすべての機械をコントロールし、自動的に製材を行う。

当社独自の「3Dスキャンシステム」

●木材事業の特長③ 製品の特徴

■ラジアータ松の強み

- 植林木のため資源量が豊富で安価⇒恒久的に安定供給できる
- 柔軟性に富み加工性に優れる ⇒梱包用材に最適
- 原木の直径が大きく、幅広い製品が取れる
- 計画植林のため環境負荷をかけない

■価格競争力

- 直接仕入、自社船による安定的低コスト輸送、大量製材、直接販売等により、ローコストオペレーションが確立されており、価格競争力がある

■国内挽製材による多品種、大量、速納性

- 国内の2ヶ所の工場で製材をしているため、多様な顧客ニーズに合わせたきめ細かい製材明細を大量に対応することが可能
- 海外で製材する輸入製材品は、通常3ヶ月前から注文を確定しなければならない。当社は1週間程度で納品できるため速納性にすぐれている

●当社ブランドイメージ 「安く、早く、大量に安定供給できる」

PART3

2013年10月期第2四半期の連結業績

1. 四半期連結損益計算書

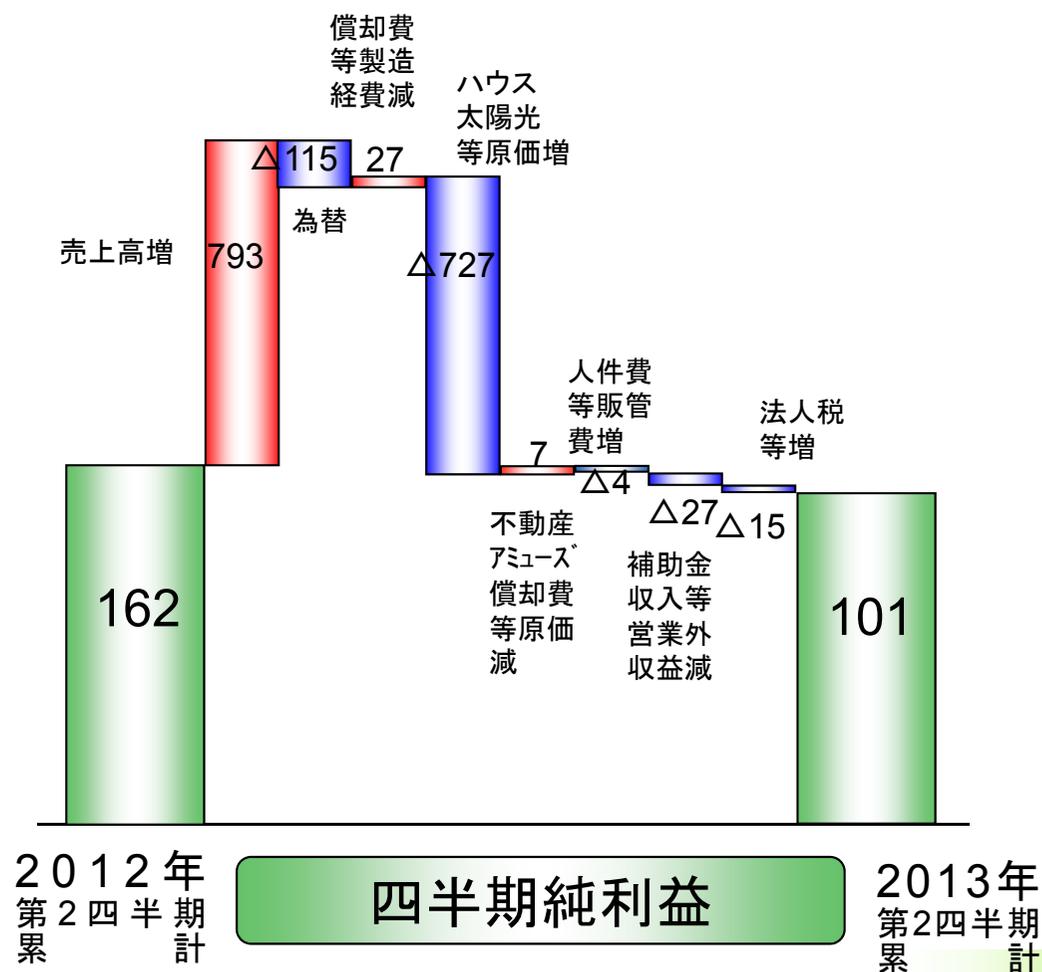
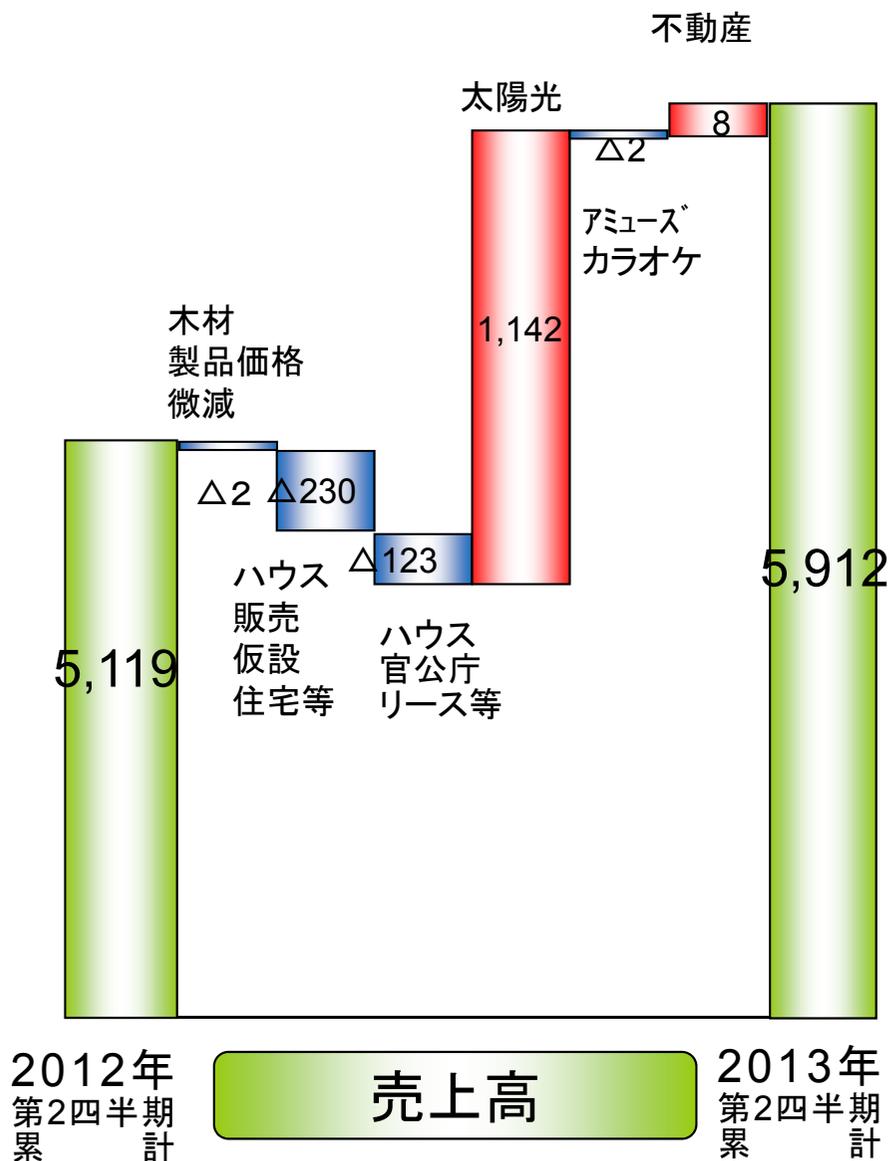
(単位:百万円)

	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	2013年 第2四半期累計 当初業績予想	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比	業績 予想比
売上高	5,119	100.0%	6,248	5,912	100.0%	115.5%	94.6%
売上総利益	867	17.0%	921	851	14.4%	98.1%	92.4%
販売費及び 一般管理費	687	13.4%	738	690	11.7%	100.5%	93.6%
営業利益	180	3.6%	183	160	2.7%	90.0%	87.7%
経常利益	165	3.3%	130	119	2.0%	71.9%	91.1%
四半期純利益	162	3.2%	111	101	1.7%	62.1%	91.1%
1株当たり 四半期純利益	94.12円	—	64.15円	58.44円	—	—	—

●太陽光の大型案件が複数完工し、増収。為替円安により、木材事業の原材料コスト増。

2. 売上高・四半期純利益の増減要因

(単位:百万円)



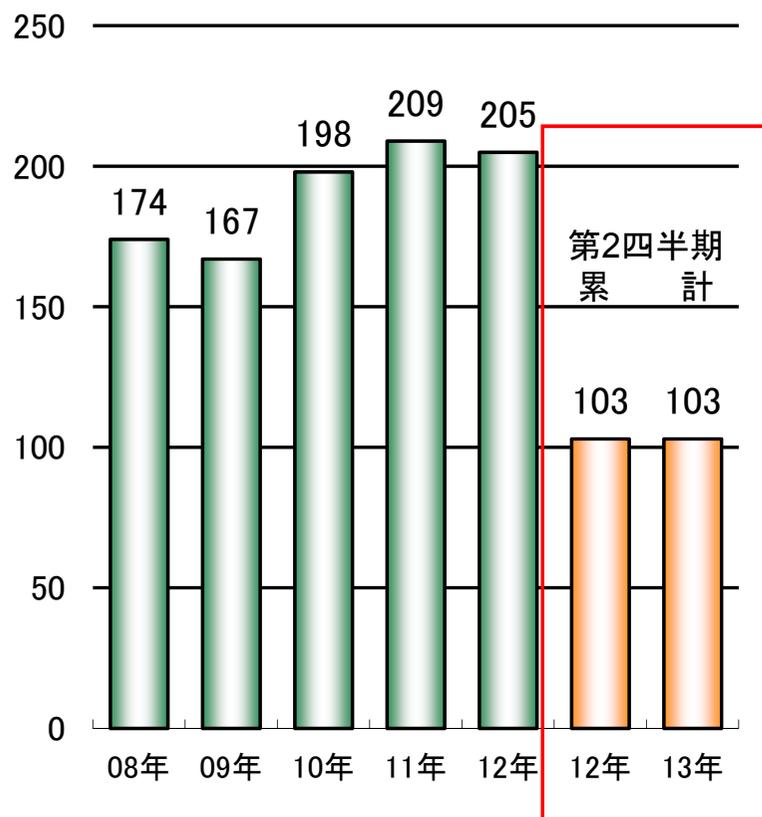
3. セグメント業績

● 木材事業

- 出荷量 前年同期比 0.7%増加したものの、安価な国産材との競合により販売単価は、前年同期比 1.2%下落。
- 為替円安により原材料コスト増加。

■ 当社出荷量の推移

(単位:千m³)



■ 木材事業の業績

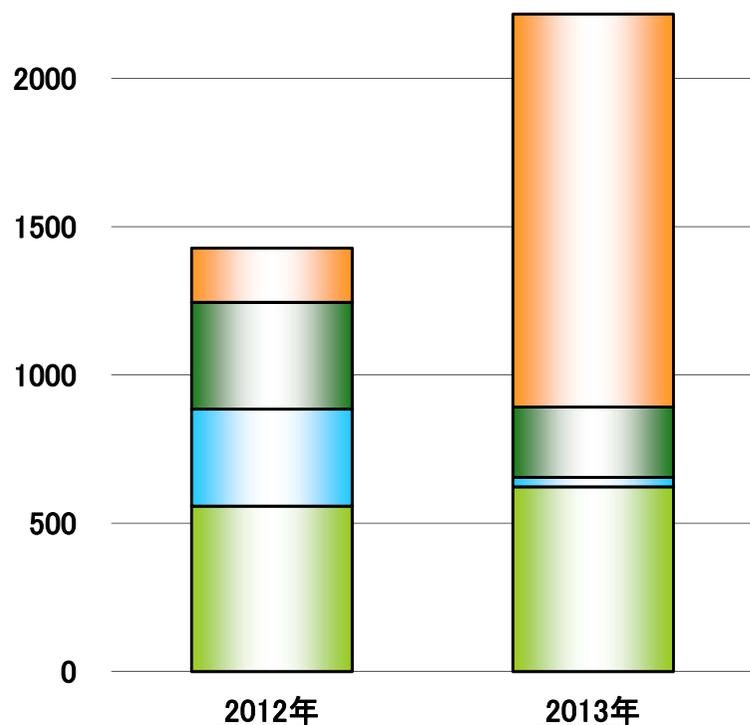
(単位:百万円)

	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	3,249	100.0%	3,247	100.0%	99.9%
営業費用	3,175	97.7%	3,272	100.8%	103.0%
営業利益又は 営業損失(△)	73	2.3%	△25	—	—
平均為替 レート(円)	77.52	—	82.36	—	106.2%

● ハウス・エコ事業

- 太陽光の大型案件が複数完工し、増収。
- ハウス販売のうち、震災の応急仮設住宅は追加工事のみにとどまり減少。

■ ハウス、太陽光 第2四半期前年同期比売上げ
(百万円)



□ハウス一般販売
□ハウス賃貸

□ハウス仮設住宅
□太陽光

■ ハウス・エコ事業の業績

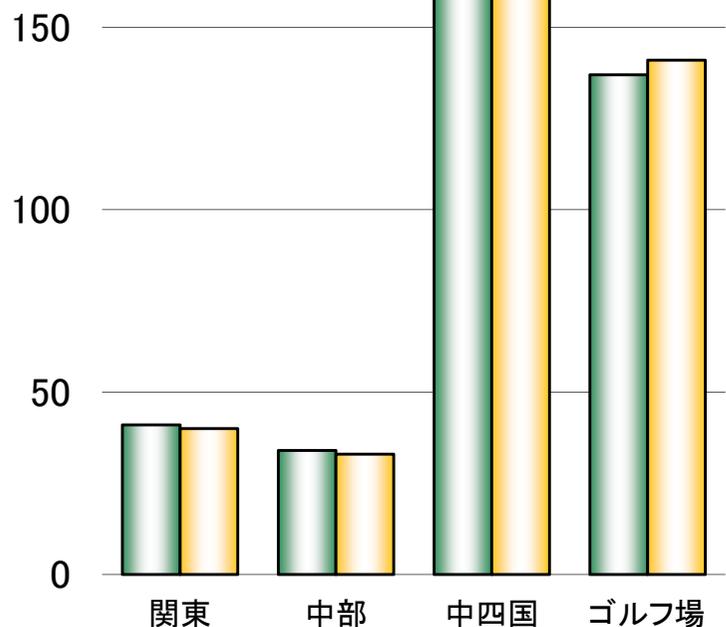
(単位:百万円)

	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	1,428	100.0%	2,216	100.0%	155.2%
営業費用	1,253	87.8%	1,981	89.4%	158.0%
営業利益	174	12.2%	235	10.6%	135.2%

● アミューズメント事業

- カラオケ事業の売上高は微減(前年同期比97.5%)、ゴルフ場は天候に恵まれ微増(同比102.9%)
- 人件費コスト等削減により営業利益は増益。

■ 地域別カラオケ店舗及びゴルフ場売上
前年同期比(百万円)



□ 2012年2nd □ 2013年2nd

■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	378	100.0%	375	100.0%	99.4%
営業費用	373	98.8%	363	96.6%	97.2%
営業利益	4	1.2%	12	3.4%	273.4%

● 不動産事業

● 賃貸収入(前年同期比108.1%)、売買売上高(同比119.1%)共に、増収。

■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2012年 第2四半期 累計実績	百分比	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	64	100.0%	72	100.0%	112.0%
営業費用	41	63.7%	39	54.8%	96.4%
営業利益	23	36.3%	32	45.2%	139.4%

4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書

■要約四半期連結貸借対照表

(百万円)	2012年 第2四半期末	構成比	2013年 第2四半期末	構成比	増減	主な要因
流動資産	5,461	49.9%	6,493	55.5%	1,032	現預金、売上債権、棚卸資産、前渡金の増加
固定資産	5,493	50.1%	5,211	44.5%	△282	姫路工場の機械装置等の償却等による減少
資産合計	10,954	100.0%	11,704	100.0%	749	
流動負債	4,074	37.2%	5,588	47.8%	1,514	仕入債務、短期借入金、1年内返済予定長期借入金の増加
固定負債	5,371	49.0%	4,578	39.1%	△792	長期借入金の減少
負債合計	9,445	86.2%	10,167	86.9%	721	
純資産	1,509	13.8%	1,537	13.1%	28	その他有価証券評価差額金の増加
負債及び純資産合計	10,954	100.0%	11,704	100.0%	749	

■要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2012年 第2四半期	2012年 第2四半期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	11	△618	売上債権の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	△36	前期定期預金の預けによる支出あり
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367	715	短期借入金の増加
現金及び現金同等物の四半期末残高	430	615	

自己資本比率
13.8% 13.1%

有利子負債比率
65.3% 67.3%

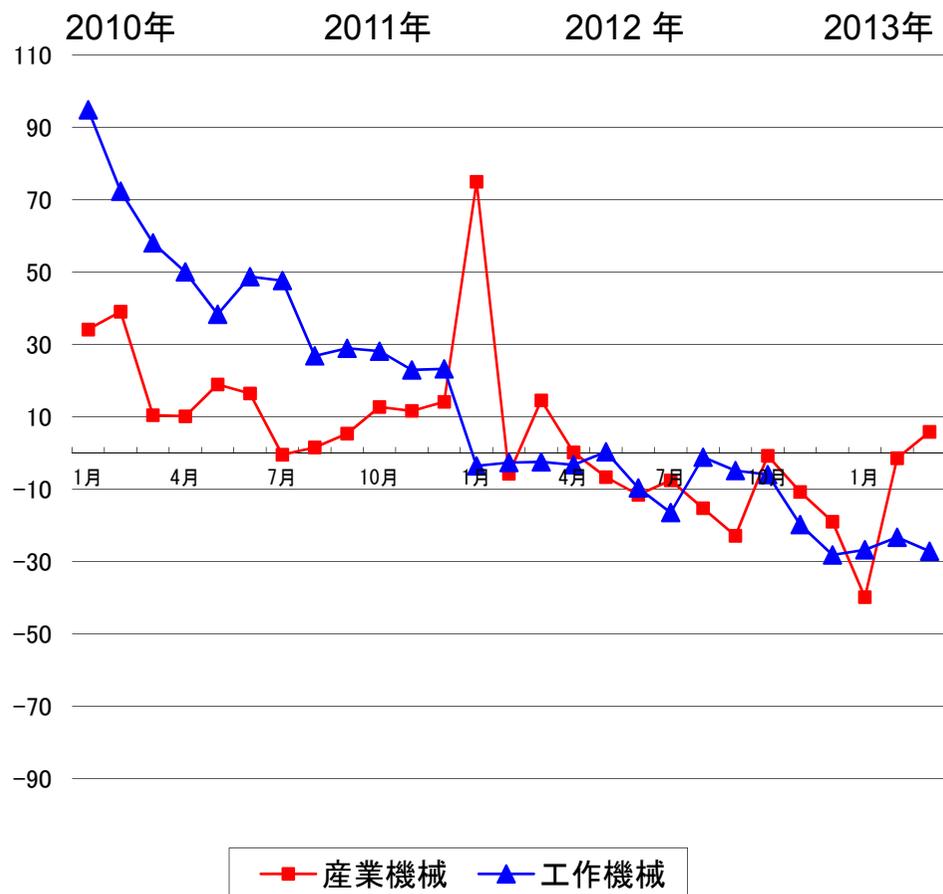
PART4

市場環境と取組みの進捗状況

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械の受注状況

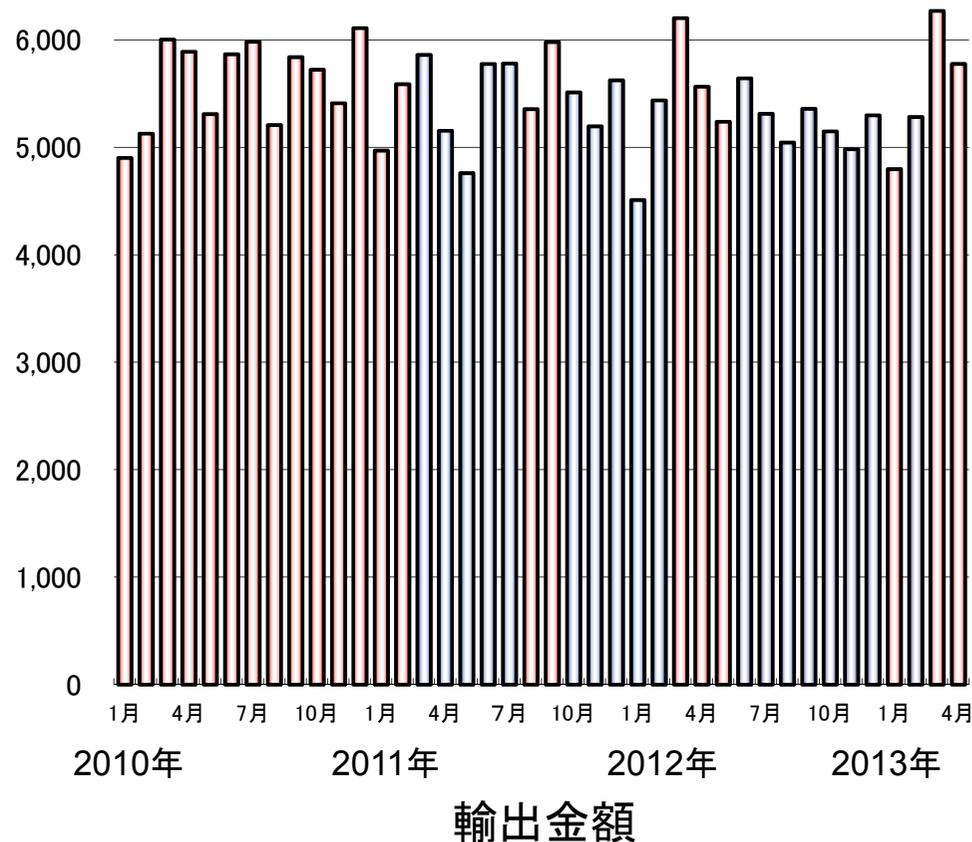
内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査
前年同月比 (%)



■ 輸出の状況

財務省 貿易統計

(十億円)

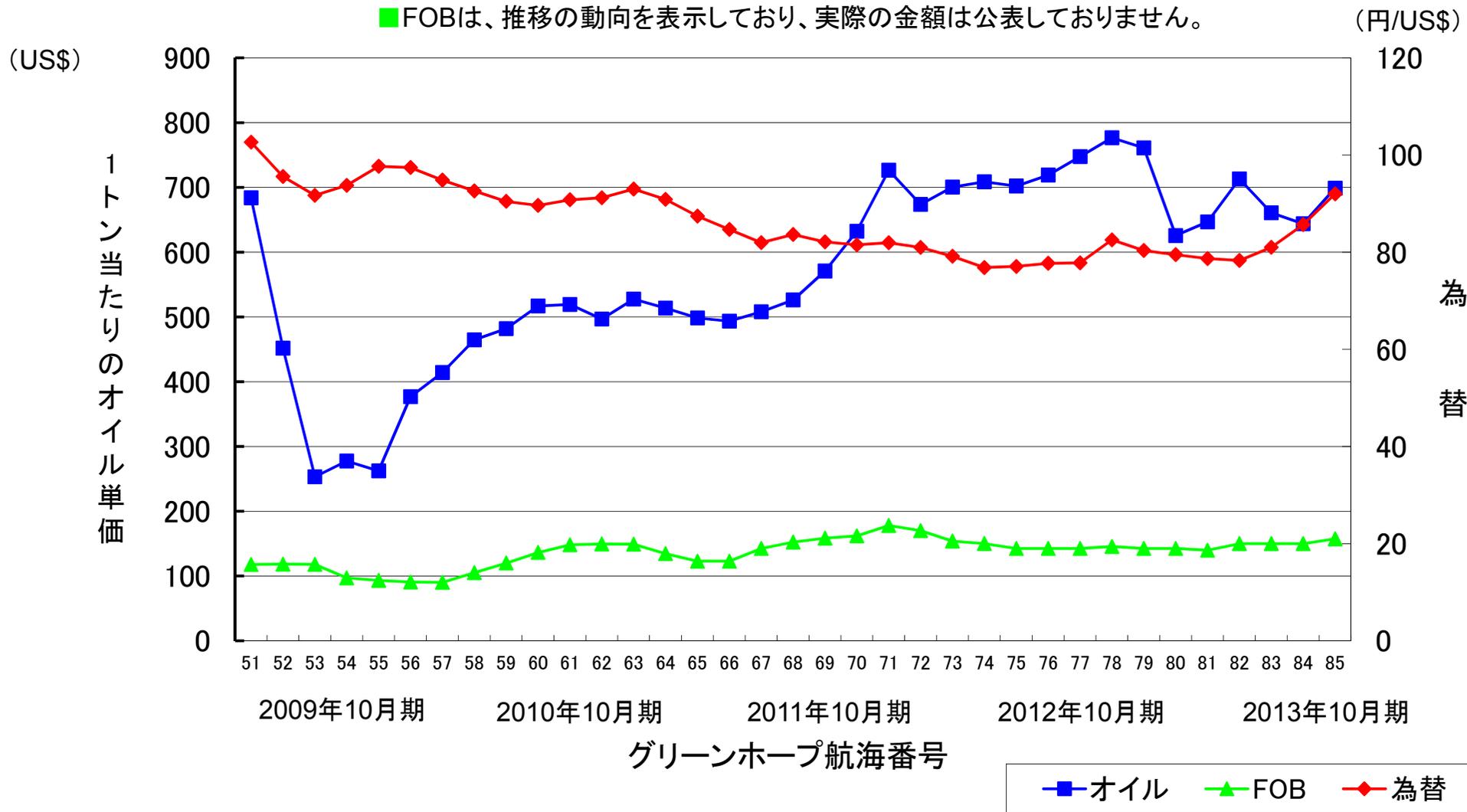


● 産業機械・工作機械等の受注は、回復の兆し。 輸出は、直近で回復傾向。

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・オイル・FOBの推移

■ オイルは自社船の各航海毎の1トン当たりの単価をUS\$で表示しております。(左軸)
 ■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表していません。



● 為替は期首より急激に円安に振れる。オイルは700ドルトン付近で上下、FOB価格は上昇気味。

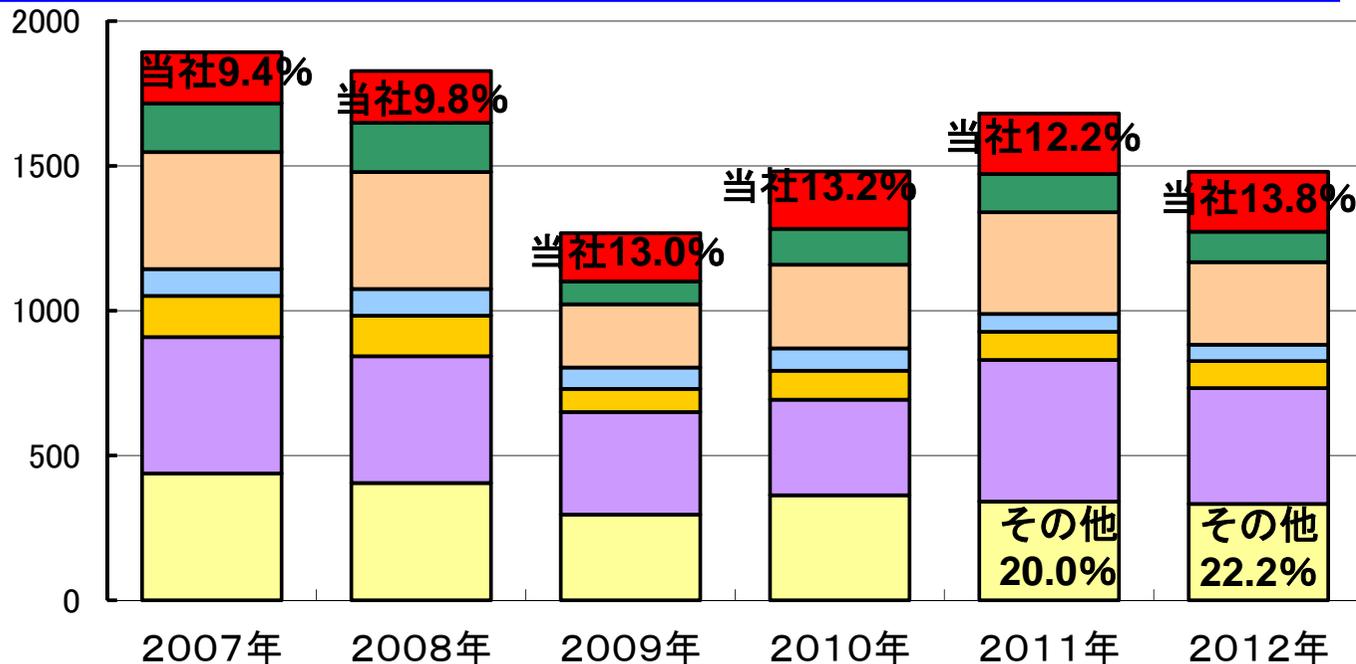
※FOB価格とは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

● 木材事業の市場環境 ③～市場シェアの動向

■ 木材梱包用材の全体の出荷量と当社の比率

単位：千㎡

全体の出荷量	1,893	1,828	1,284	1,500	1,707	1,500
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



■ 販売先数の推移



※ニュージーランド輸入製材品、チリ輸入製材品は、財務省輸入統計の通関量を表示しております。

※輸入製材品以外の出荷量は、農林水産省木材統計の用途別製材品出荷量の「木箱仕組板・梱包用材」を表示しております

2012年は、市場が87.8%に縮小する中で、輸入製材品が減少し、安価な国産材がシェアを伸ばす。

● 木材事業：取組みの進捗状況

■ 出荷量 第2四半期累計出荷量103,797m³(前年同期比100.7%)

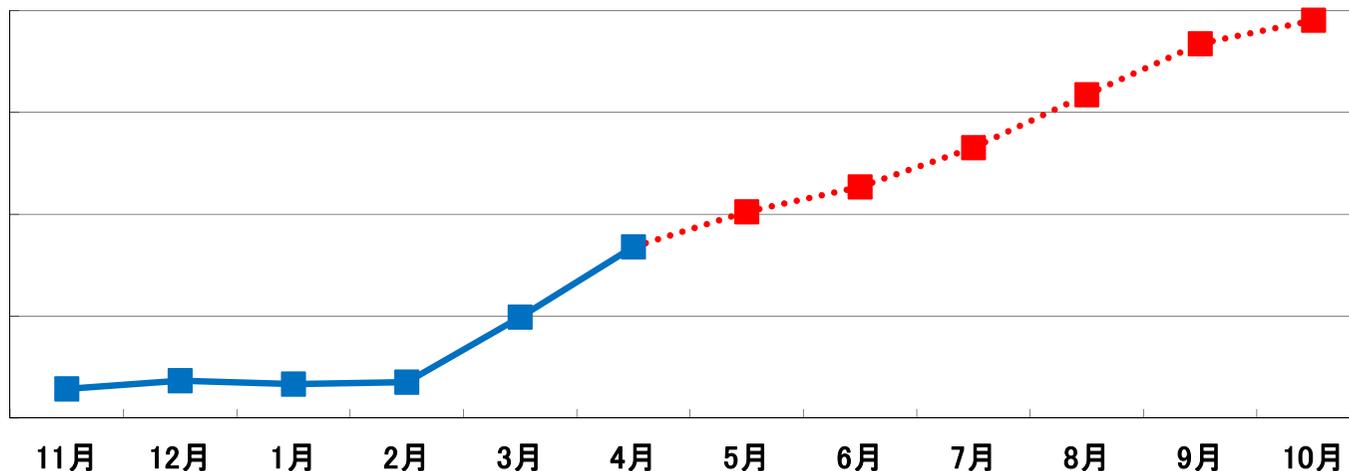
- 熱処理材 2012年11月より姫路工場にて乾燥機3号機稼働開始 納期短縮により受注取り込み
- ドラム用材 2013年3月 センターカット機 新設稼働
製品精度の向上によりドラムマーケットのシェアアップ。
- カット材 パレット向けは、安価な国産材との競合により苦戦

■ 販売価格の引き上げ

第2四半期累計平均価格で前年同期比98.8%、4月末価格で前年同月比108.8%。
為替円安等原材料コストの上昇を、販売価格に転嫁。

当期の製品販売価格の推移 (5月以降は見込み)

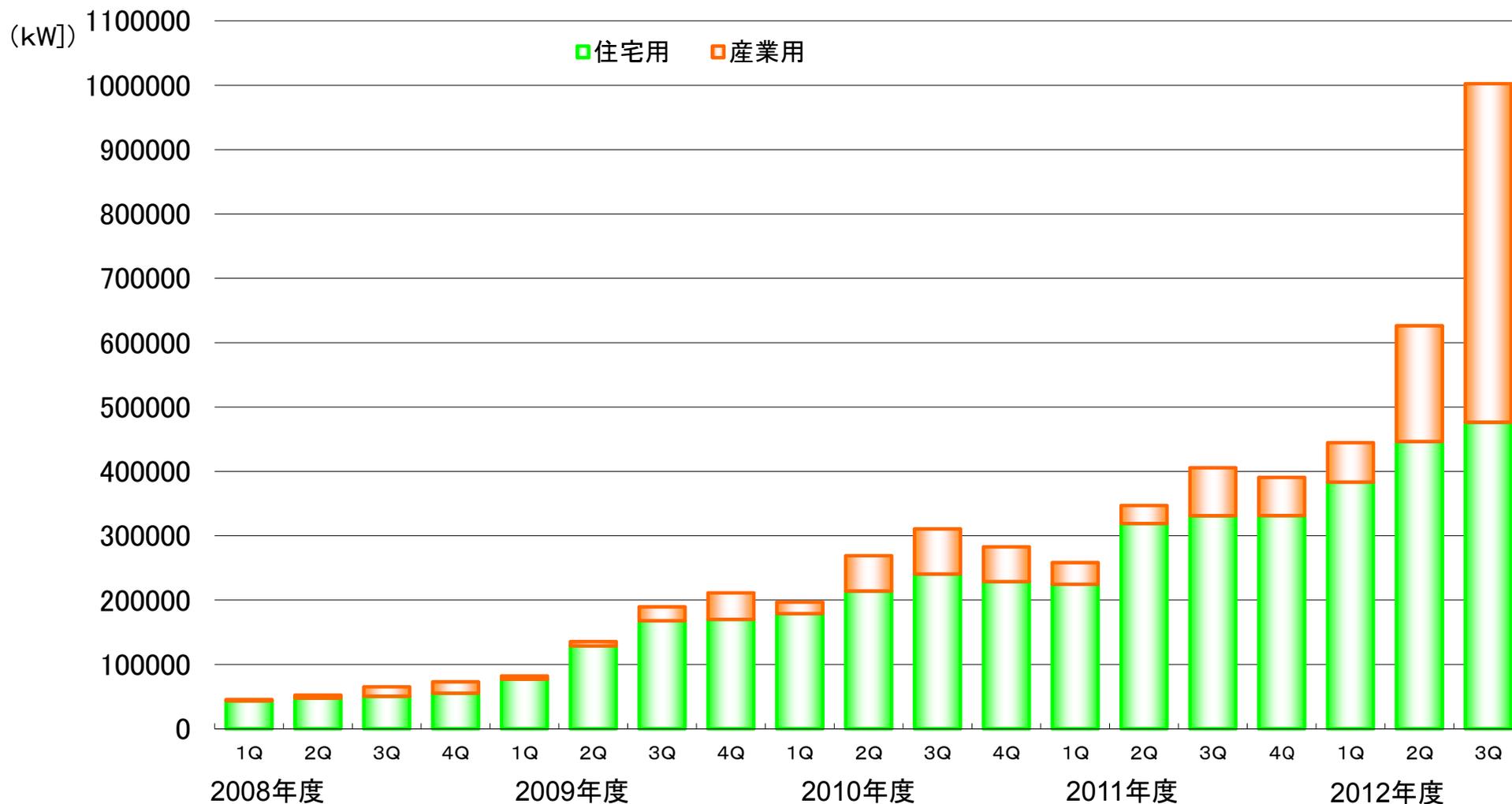
※具体的な販売価格は記載を控えさせていただきます。



●ハウス・エコ事業の市場環境

■日本における四半期ごとの太陽電池出荷量の推移(国内向)

太陽光発電協会調べ



●2012年度第3四半期には、産業用の太陽電池出荷量が住宅用を上回った。

●ハウス・エコ事業：取組みの進捗状況

■産業用太陽光発電システムの販売に全社的に注力

●既存のハウス事業所の経営資源を利用した全国展開

営業会議における研修の実施、大型物件を営業所に担当させる。

●大型工事に対応した技術者の採用、施工体制の確立

既存工務社員の施工現場への投入、電気技術者の新規採用 2名

■当期の太陽光発電システムの売上高20億円を目指す。

第2四半期累計売上 13億25百万円

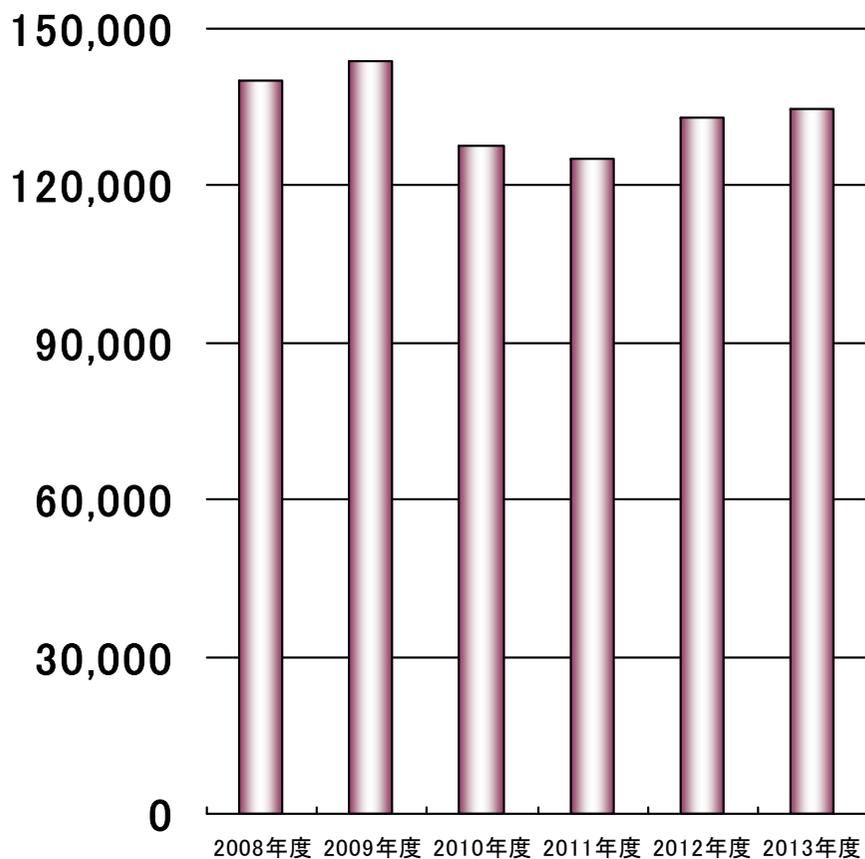
第2四半期末受注残 4億22百万円



当社施工のメガソーラー（広島県世羅町）

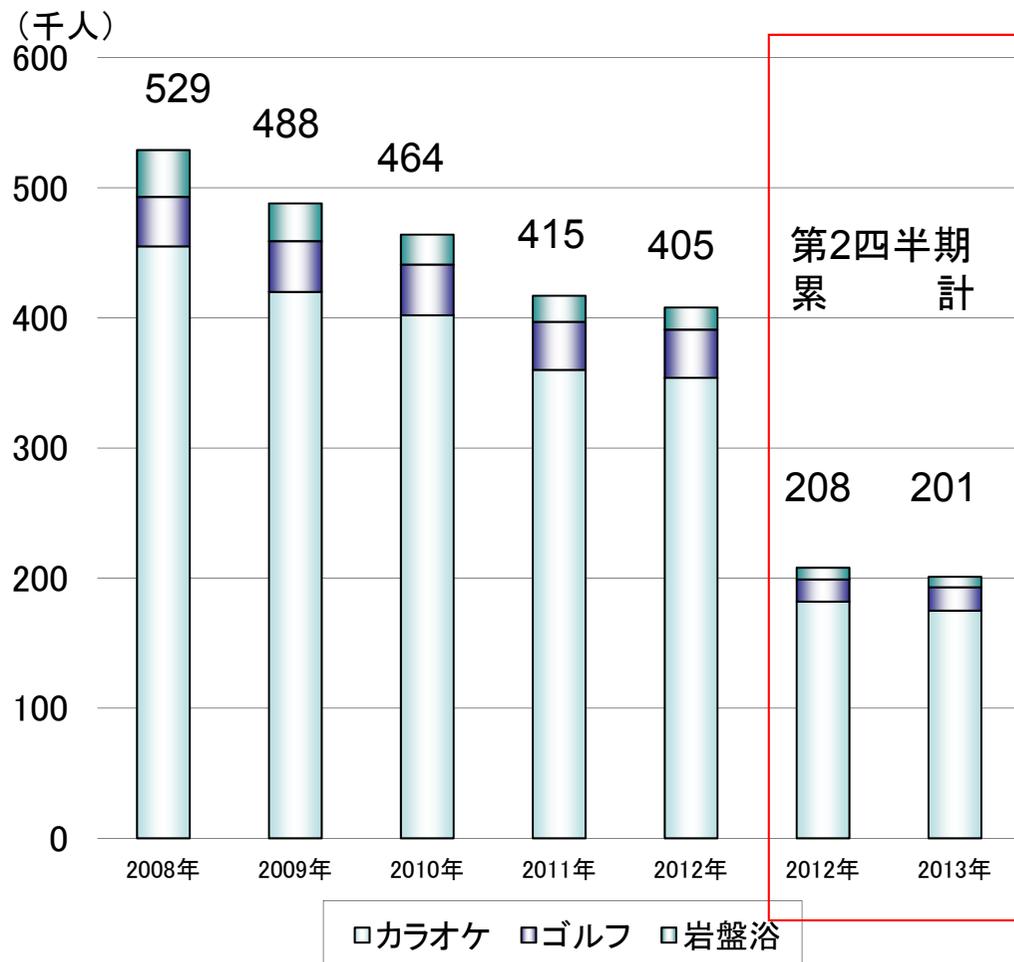
●アミューズメント事業の市場環境

■カラオケ上場5社売上高推移 (百万円)



上場しているカラオケ5社(シダックス、第一興商、AOKIホールディングス、鉄人化計画、コシダカ)の決算短信・決算説明会資料等をもとに、カラオケ事業の売上高及び売上見込の合計を掲載しております。

■当社のアミューズメント事業の利用者数



●カラオケ大手チェーン店は、最大手は減収、その他はわずかに増収。

●当社の利用者数は、減少。

●アミューズメント事業：取組みの進捗状況

■サービスの基本教育の徹底

- 接客、清掃、基本オペレーション業務の徹底教育によるサービスの向上
 接客検定の実施、アルバイトの評価制度の改善

■既存店舗の収益力の向上

- 全社統一イベントの定期的な企画と実施
 機器メーカーとタイアップした採点歌合戦の実施
- 全店統一シーズンメニューの実施
 食材の全店舗一括仕入れ
- その他
 SNSを利用した情報発信



PART5

2013年10月期の業績予想

1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	2012年	百分比	2013年 前回予想	2013年	百分比	前期比
売上高	9,744	100.0%	11,916	11,359	100.0%	116.6%
売上総利益	1,456	15.0%	1,865	1,462	12.9%	100.4%
販売費及び 一般管理費	1,342	13.8%	1,472	1,332	11.7%	99.3%
営業利益	114	1.2%	392	129	1.2%	112.7%
経常利益	79	0.8%	288	38	0.3%	48.6%
当期純利益	65	0.7%	220	22	0.2%	34.8%
1株当たり 当期純利益	37.94円	—	127.18円	13.19円	—	—

- 木材事業の原材料コストの上昇と販売価格への転嫁とのタイムラグの発生、値上げによる競合との価格差による受注減少の恐れ、受注減少による単位当たりの生産コストの上昇の恐れ。
為替レート 1ドル79円 → 100円に修正

4. 予想配当

期末配当

<p>2012年 10月期</p>	<p>普通配当 5円</p>
<p>2013年 10月期</p>	<p>普通配当 10円</p>

予想配当を10円に増配

●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



株式会社 オービス
経営企画室 中奥 淳史

Tel. 084-934-2621 (代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: ir@orvis.co.jp

URL: <http://www.orvis.co.jp>